

かがわ文化芸術祭2018  
特別共催事業

かがわアートナビ  
メルマガ会員募集!

日本を代表するオペラ歌手による

ガラ・コンサート

# 祝賀演奏会

～アート県かがわ出身の名歌手たち～

2018年12月9日(日) 開演 14:00  
開場 13:30  
レクザムホール(香川県県民ホール) 大ホール

演奏曲目(予定)

林 康子	ベッリーニ作曲:オペラ「ノルマ」より「清き女神」
谷原 めぐみ	レオンカヴァッロ作曲:オペラ「道化師」より「鳥の歌」
大島 洋子	ブッチーニ作曲:オペラ「ラ・ボエーム」より「私の名はミミ」
高橋 薫子	ブッチーニ作曲:オペラ「ラ・ボエーム」より「私が街をあるけば」
大島 洋子	ブッチーニ作曲:オペラ「ラ・ボエーム」より「さようなら」
高橋 薫子	グノー作曲:オペラ「ロメオとジュリエット」より「私は夢に生きたい」
小濱 妙美	ヴェルディ作曲:オペラ「運命の力」より「神よ平和を与えたまえ」
林 康子	ブッチーニ作曲:オペラ「トスカ」より「歌に生き 愛に生き」
多田羅 迪夫 藤谷 佳奈枝	モーツァルト作曲:オペラ「ドン・ジョヴァンニ」より「手を取り合って」
佐竹 由美	ベッリーニ作曲:オペラ「カプレーティ家とモンテッキ家」より「ああ、いくたびか」
藤谷 佳奈枝	ドニゼッティ作曲:オペラ「連隊の娘」より「フランス万歳」
小濱 妙美	チレア作曲:オペラ「アドリアーナ・ルクヴルール」より「私は創造の神の卑しい僕」
山下 牧子	サン＝サーンス作曲:オペラ「サムソンとデリラ」より「あなたの声に私の心は開く」
岡田 昌子	ブッチーニ作曲:オペラ「トゥーランドット」より「この宮殿に何千年も昔」
若井 健司	ブッチーニ作曲:オペラ「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」
多田羅 迪夫	ヴェルディ作曲:オペラ「マクベス」より「哀れみ、尊厳、愛」
全員+合唱	ヴェルディ作曲:オペラ「椿姫」より「乾杯の歌」



林 康子



大島 洋子



佐竹 由美



高橋 薫子



谷原 めぐみ



多田羅 迪夫



小濱 妙美



若井 健司



山下 牧子



岡田 昌子



指揮・菊池 彦典



オーケストラ:高松交響楽団



藤谷 佳奈枝

チケット料金|全席指定|一般 S席:3,000円 / A席:2,000円 / 学生:1,000円  
香川県在住の「かがわアートナビ」メルマガ会員 S席:2,000円 / A席:1,000円 / 学生:500円  
チケットについては裏面をご覧ください。 ※未就学児のお子様のご入場はご遠慮ください。

本公演では、託児サービスがございます。12月4日までにお申込みください。(グランメール Tel 087-862-3378)

主催 (公財)置県百年記念香川県文化芸術振興財団、香川県 事業実施者 穴吹エンタープライズ株式会社 協力 四国二期会オペラ合唱団

公演・チケットについてのお問合せ 県民ホールサービスセンター Tel 087-823-5023 (10:00~18:00) /「かがわアートナビ」メルマガについてのお問合せ 香川県文化芸術局文化振興課 Tel 087-832-3785 (平日 8:30~17:15)



<b>林 康子</b> Yasuko HAYASHI	東かがわ市(旧大内町)出身。香川県立高松高等学校卒業。東京藝術大学卒業、同大学院修了。1969年10月にイタリア政府の奨学生としてミラノに留学。2年後の1972年3月には「蝶々夫人」で日本人初のスカラ座デビューを果たす。その後800回以上の「蝶々夫人」と300回余のモーツァルトのオペラに出演。世界一の格を保つスカラ座において10演目のオペラで80回の舞台を踏んでいる。このような活躍をしたオペラ歌手は世界にも少なく、日本では林康子をおいて未だ現れていない。今のような情報世界では考えられないことだが、当時その活躍は日本にほとんど伝わってなかった。ヨーロッパを中心に、イタリア人と同様の美声と声量で50余のタイトルロール(主役)を歌うなど、国際的な大歌手と肩を並べて30年という長い期間、常に世界の第一線で活躍してきた。元東京藝術大学教授。第24回日本芸術賞、第20回サンリオ音楽賞、第10回ジローオペラ賞、よんでん芸術文化賞等を受賞。イタリアにおいて金の射手座賞及びオルフェオ賞など数多くの賞を受賞。日伊音楽協会副会長。香川県文化功労者。2006年紫綬褒章受章。2014年旭日小綬章受章。著書「スカラ座から世界へ」。	<b>多田 羅迪夫</b> Mitsuo TATARA	東京藝術大学在学中に安宅賞(大学内での専攻毎の成績最優秀者)を受賞する。昭和48年、イタリアに留学後、ドイツのゲルゼンキルヒェン歌劇場を始めとする歌劇場のソリストとして活躍し帰国する。若杉弘指揮二期会オペラ公演「ジークフリート」のアルベリッヒ、新日フィルと小澤征爾指揮で「ヴォツェック」タイトルロールを歌い、一躍注目を浴びる。その後も「リゴレット」「ドン・ジョヴァンニ」「オランダ人」の各タイトルロール、「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」のハンス・ザックス等で高い評価を得ている。コンサート歌手としても、NHK交響楽団をはじめ、国内主要オーケストラと宗教的声楽作品等のソリストとして数多く共演している。平成19年には、母校である東京藝大内の奏楽堂「ドイツ歌曲の夕べ」リサイタルを行い、翌年にそのライブ録音がCDリリースされ、「レコード芸術」誌において特選盤となる。平成14年度から始まった「かがわ声楽講座」の立ち上げから中心的な役割を担い、香川の音楽活動の活性化や人材の育成に尽力するなど、本県における文化芸術の振興に寄与した功績が高く評価されている。東京藝術大学名誉教授。東京二期会会員。香川県文化功労者。
<b>大島 洋子</b> Yuko OHSHIMA	東京藝術大学卒業、同大学院修了。22才で第44回毎日音楽コンクールに3位入賞。文化庁オペラ研修所に最年少で入所、日本での最高指導者の下で研鑽を積む。24才で二期会公演においてヤナーチェクの「利口な女狐」の女狐でオペラ界にデビュー。続いて文化庁移動公演「夕鶴」つう、「フィガロの結婚」スザンナ役にて日本各地で好評を博す。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。帰国後はモーツァルトのオペラを多く手がけ、ことにオペレットの役作りにおいては他の追従を許さないものがある。また邦人作品初演、原嘉寿子作曲「脳死をこえて」「さんせう太夫」、新国立劇場にて「罪と罰」ソーニャを歌い高い評価を得た。柔らかく、透明感と潤いのある声で、低音から高音までむらなく響き、また的確な表現と豊かな音楽性は高い評価を得ている。第17回ジローオペラ賞受賞。二期会会員、東京藝術大学非常勤講師。	<b>小濱 妙美</b> Temi KOHAMA	東京藝術大学卒業、同大学院修了。1984年～スイス、ミラノ留学。1993年ドイツのブラウンシュヴァイク劇場「タンホイザー」エリーザベトでヨーロッパデビュー。日本では1990年「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナでデビュー。1997年新国立劇場開場記念オペラ「ローエングリン」エルザで大絶賛を浴び、びわ湖ホールオペラ「ジャンヌ・ダルク」でも注目を集めた。2005年NHKニューイヤーオペラコンサート、2006年カーネギーホールリサイタルで会場総立ちの大喝采。2009年新国立劇場「修禪寺物語」かつら役。パヴァロッティ、チャイコフスキーコンクール等多数受賞。日本音楽コンクール等審査員。京都市立芸術大学教授。沖縄県立芸術大学非常勤講師。
<b>佐竹 由美</b> Naemi SATAKE	高松第一高校卒業。東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了、博士号を取得。学部を首席で卒業。皇田桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ローター国際親善奨学生として渡伊。第53回日本音楽コンクール第2位入賞、同時に最高位に贈られる福沢賞受賞。イタリア・ノバ国際声楽コンクール第2位入賞。ライプツィヒ第8回パッシ国際コンクール第4位入賞。オペラにおいても「後宮からの逃れ」「魔笛」「エジプトのヘナ」(日本初演)「ダナエの愛」など、二期会などにおいて主要キャストとして活躍、よんでん芸術文化奨励賞受賞。2009年文化庁芸術家在外研修員。2011年カワイサウンド技術・音楽振興財団第1回音楽振興部門研究助成取得。国立音楽大学教授、愛知県立芸術大学講師。二期会会員。	<b>若井 健司</b> Kenji WAKAI	東京藝術大学大学院修了。在学中、ベートーヴェン「第九」日本初演の地で行われた「魅る第九」(日本テレビ放送)にてソリストデビューし、以後、オーストリア・フォイツバルク市など各地でソリストとして活躍。ブラスフィルハーモニー、スタラザゴラ歌劇場管弦楽団(ブルガリア)、リヴィウ・ヴィルトゾブオーケストラ(ウクライナ)と共演している。サンボートホール高松開館10周年記念オペラ「扇の影」では、企画提案・芸術監督兼・那須与一役として公演を成功させ、四国初の海外公演に導いた。2000年オーストリア・グラーツ大学、ミュンヘンへ文部省在外研究員として留学。2001年高松市文化奨励賞受賞。2006年ブルーボリス賞(個人優秀賞)受賞。2010年香川県文化芸術選奨受賞(個人初)。現在、香川大学教授、四国二期会理事長。
<b>高橋 薫子</b> Nobuko TAKAHASHI	国立音楽大学卒業、同大学院オペラ科修了。文化庁オペラ研修所第七期生修了。'90イタリア声楽コンクールシエナ大賞受賞。没後200年記念国際モーツァルト声楽コンクールでアンナ・ゴットリーブ賞を受賞しウィーンフィルと共演。同年、藤原歌劇団公演「ドン・ジョヴァンニ」のツェルリナー役で本格的デビューを飾った。ジロー・オペラ新人賞、村松賞、モービル音楽賞洋楽部門奨励賞、よんでん芸術文化奨励賞、ホテルオーケラ音楽賞、香川県文化芸術選奨受賞。藤原歌劇団団員。東京藝術大学、国立音楽大学、洗足学園音楽大学大学院講師。	<b>山下 牧子</b> Makiko YAMASHITA	広島大学を卒業後、東京藝術大学大学院に学ぶ。第1回東京音楽コンクール声楽部門1位。第72・73回日本音楽コンクール共に3位入賞。平成27年度よんでん芸術文化奨励賞受賞。2002年に日生劇場オペラ教室「カルメン」タイトルロールでオペラデビュー後、新国立劇場や二期会のオペラ公演に多数出演。宗教曲や歌曲にも意欲的に取り組んでおり、国内主要オーケストラとベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」、ヴェルディ「レクイエム」、マラー「復活」等を共演。二期会会員。
<b>谷原 めぐみ</b> Megumi TANIHARA	東京藝術大学大学院オペラ専攻修了。ソレイユ音楽コンクール第1位。藤沢オペラコンクール第1位。奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第1位。香川県文化芸術新人賞受賞。藝大オペラ「セビリアの理髪師」ロジーナでオペラデビュー。「フィガロの結婚」伯爵夫人。「魔笛」パミーナ。「ジャンニ・スキッキ」チェスカ。「蝶々夫人」ケイト。群響第九演奏会沼田公演、香川県まるがめ第九、徳島県鳴門第九ソプラノ。東京二期会会員、さいたまシティオペラ会員。	<b>岡田 昌子</b> Shoko OKADA	東京藝術大学卒業、同大学院修士課程オペラ科修了。日伊声楽コンソロ第1位。香川県民ホール開館20周年記念事業「蝶々夫人」でタイトルロールデビュー。2012年パルマ王立劇場と二期会提携「ナブッコ」アビガイルで絶賛を浴びた。その後、文化庁、五島文化財団、野村財団、ロームファンデーションの奨学生としてイタリアで研修。2018年イタリアのルッカ、ウッザーノ、モンテカチーニ劇場メヴェルディ劇場にて「蝶々夫人」蝶々夫人を3日連続公演し大成功を収める。よんでん文化振興財団奨学生。香川県文化芸術新人賞受賞。
<b>菊池 彦典</b> Yoshinori KIKUCHI	愛媛県出身。東京藝術大学卒業後、ローマ・サンタ・チェチリア音楽院に留学。フランコ・フェッララ氏に師事。シエナ夏期指揮コースにて名誉学位を授かる。1970年ローマ・サンタ・チェチリア音楽院オーケストラを指揮してデビュー。1985年にはミラノ・スカラ座での新制作「蝶々夫人」(浅利慶太演出)の指揮で話題を集めた。1988年秋、藤原歌劇団「蝶々夫人」で日本デビューを飾り、絶賛を博す。その後もヴィットリオ・アインダをはじめヨーロッパ各地で活躍の一方、藤原歌劇団で「トスカ」「オテロ」「運命の力」「アンドレア・シェニエ」「椿姫」「蝶々夫人」「アドリアーナ・ルクヴール」などを指揮し、日本では数少ないオペラのエキスパートとして不動の名声を確立する。二期会では「こもり」やオペラ・ガラコンサートを指揮。1998年より活動の拠点を日本に移し、早速、新国立劇場にてデビュー。首都圏を中心に全国各地で数多くの指揮を担当するが、特にイタリア・オペラへの造詣の深さは定評があり、表現力の豊かな情熱的演奏で聴衆を魅了している。日本を代表するオペラ指揮者として国際的な活躍を続け、2006年7月にはシエナのトラーニ音楽院に招かれ、「ラ・ボエーム」を指揮している。また、2006年3月まで昭和音楽大学教授を務めるなど、人材育成にも力を注いでいる。2005年よんでん芸術文化賞受賞。	<b>藤谷 佳奈枝</b> Kanane FUJITANI	東京藝術大学卒業、同大学院オペラ科修了。イタリア国立パルマ音楽院首席卒業。第76回日本音楽コンクール第2位、聴衆賞受賞。香川県文化芸術新人賞、よんでん芸術文化奨励賞受賞。サイトウ・キネン・フェスティバル松本、小澤征爾指揮「子供と魔法」で唯一の日本人キャストとして出演、同作CDがグラミー賞受賞。ミック・フランク指揮「子供と魔法」でベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と共演。イタリアでは「秘密の結婚」「愛の妙薬」「ランスへの旅」「チェッキーナ」「結婚手形」等に出演。2018年12月、マレク・ヤフスキ指揮、NHK交響楽団の第九、ソプラノ・ソロで出演予定。
<b>高松交響楽団</b> Takamatsu Symphony Orchestra	1951年、故 緒方益徳氏が県内有志を募り創立。2021年に創立70周年を迎える。これまでに約120回の定期演奏会をはじめ、香川県民ホール開館20周年記念オペラ「蝶々夫人」全幕(2008年)、サンボートホール高松開館50周年記念「カルミナ・ブラーナ(ハレ付)」公演(2009年)等、オペラ・バレエ等他団体や地元音楽家との共演など地域に深く根ざした幅広い活動を重ねる。2001年(創立50周年)を機に新たな半世紀に向け、高響団員を中心に新たに編成された「コレグウム・ムジカ高松」、「高松オペラシティ・オーケストラ」など多面的なオーケストラ活動を展開。更に2001年より香川県主催事業となった「かがわジュニア・フィル(KJO)」、2003年設立の「丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ(MCO)」への演奏・運営全面協力など、地域音楽文化の核ともいえる重要な役割を担う香川のマスター・オーケストラとして様々な取り組みを行っている。1987年、地方文化発展に大きく貢献した功績から音楽団体として四国初の「地域文化功労者表彰」を文部大臣より受賞。2008年、香川県より栄える第1回「文化芸術選奨」を受賞。現在の団員数は、約150名。		

**「かがわアートナビ」メルマガ会員について** 文化芸術情報ポータルサイト「かがわアートナビ」では、おススメの文化芸術イベント情報を発信しています。またメルマガ会員に対して、定期的にメール配信するほか、香川県からの文化芸術関係のお知らせを郵送します。メルマガにご登録いただくと、インターネット予約、または、県民ホールサービスセンターにおいて、特定公演のチケットを2枚まで購入できる「割引クーポン」を発行します。詳しくは県民ホールサービスセンターにお問合せください。

※ご登録いただく個人情報は、氏名、メールアドレス、住所、電話番号(メールが届かなかった場合の確認に使用)、法令等に基づき適正に扱い、香川県及び公益財団法人置屋百年記念香川県文化芸術振興財団からの文化芸術情報の発信のみに使用し、第三者には提供いたしません。

**チケット料金 [全席指定]** 一般:S席 3,000円 / A席 2,000円 / 学生 1,000円  
香川県在住の「かがわアートナビ」メルマガ会員:S席 2,000円 / A席 1,000円 / 学生 500円

**チケットについて**  
インターネット予約:<http://kenminhall.com/ticket/> (座席指定可 / 24時間受付)

**プレイガイド**  
デュークショップ高松店:087-821-2345、香川県庁生協:087-832-3822、  
高松市役所生協:087-839-2043、高松テルサ:087-844-3511、竹内楽器:087-862-5009、  
ミヨシヤ楽器店(丸亀):0877-25-1234、三豊市文化会館マリンウェブ:0875-56-5111、  
ミュージックセンターオオサカヤ観音寺本店:0875-25-2201、観音寺市民会館:0875-23-7600  
※発売開始時間は各店舗により異なります。

**公演・チケットについてのお問合せ**  
県民ホールサービスセンター Tel 087-823-5023 (10:00~18:00)



**「かがわアートナビ」メルマガについてのお問合せ**  
香川県文化振興課 Tel 087-832-3785 (平日 8:30~17:15)